

パリ DAC 通信(DAC の中で最も寛大なドナー～DAC はノルウェーに援助審査の結果を勧告)

DAC はノルウェーの援助審査を実施し、援助配分の拡散に留意しつつも、ノルウェーが責任を果たし、斬新なドナーであることに合意しました。

■ノルウェーの ODA の国民所得比は世界第 1 位の 0.95%

ノルウェーの ODA の国民所得比は、30 年以上にわたりの国連目標である 0.7% 越えを一貫して継続しており、2007 年は 0.95% と世界で第 1 位でした(第 2 位はスウェーデンの 0.93%)。ノルウェーの 2009 年の ODA 予算は 17.5% 増を予定しており、DAC は現下の金融危機の状況においてもノルウェー自らの政策目標である ODA の国民所得比の 1% 越え達成をノルウェーに強く期待しました。

■拡散するノルウェーの援助配分先とイニシャティブ

ノルウェーのバイの援助の割合は 3 分の 2 程度ですが、このうちの人道援助、NGO への拠出、マルチを活用した援助を除くと、実際にノルウェー自身が現場で実施する援助は 18% しかありません。これに対して、ノルウェーの援助パートナー国はアフリカ 15ヶ国、アジア 11ヶ国、ラテンアメリカ 2ヶ国と分散しており、DAC は集中を進めるべきと勧告しています。また、ノルウェーの援助が増加する中で、石油、森林などの様々な新たな分野のイニシャティブが立ち上げられ、分野間でも援助が拡散傾向にあることに DAC は留意を促しました。

■ノルウェーの援助の課題は DAC の課題

ノルウェーの援助実施は外務省と NORAD(ノルウェー開発援助機関)にまたがっていますが、両機関の役割の明確化や、増加する援助配分先・イニシャティブに対応できるような専門性を有する人員の育成・配置が勧告されました。また、ノルウェーは Nordic+メンバーとして従来から援助効果向上の取り組みに熱心ですが、バイ援助だけでなくその他の国際機関や NGO を通じた援助の効果向上にも気を配ることや、援助において能力開発の主流化を推進することなど、ノルウェーへの勧告は他の DAC ドナーにもあてはまる一般的なものとなっています。

■人道援助においても高い評価

ノルウェーの人道援助の 23% はイヤーマークされておらず、またこれに国レベルだけイヤーマークした援助を加えるとおよそ 5 割となり、ノルウェーの人道援助は非常に柔軟性が高いものとしてパートナー国からも高い評価を得ています。さらにこの評価を高めるために、DAC は人道援助における複数年契約の導入による予測可能性の向上を勧告しました。

DAC で最も寛大で、斬新なドナーであるノルウェーには、援助審査の勧告も比較的落ち着いた内容となっているようです。